

計画事業番号	00682	事務事業名	総合内部情報システム管理事業	担当部署	総務部行政管理課	電話	766
--------	-------	-------	----------------	------	----------	----	-----

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	高度情報通信ネットワーク社会形成基本法(IT基本法)第20、21条 北広島市会計規則、契約規則、財産管理規則				
事務事業開始年度	平成15年度	個別計画等					
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち (第 8 節) 情報化の推進 (施策 1) 行政事務の情報化
2 対 象	市民及び職員、行政システム
3 目的と内容	内部業務システムの運用管理、内部業務のシステム化により、業務の効率化を図る。 財務系(予算編成、予算管理、起債、財政推計)、会計系(歳入歳出管理、資金・基金管理、歳入歳出外管理)、財産系(備品管理、資産管理)、契約系(契約管理、業者管理)、計画系(推進計画、行政評価)、文書系(文書管理、電子決裁)、共通系(職員認証、グループウェア、職員ポータル)
4 実施内容 (手 段)	2 7 年度 まで ○財務会計システムを含む、内部情報システムを更新し、共通系・財務系・会計系についてスムーズな移行と運用を図った。(平成22年度より運用開始) ○計画系、文書系について順次運用を開始した。 ○汎用GIS(地理情報システム)を導入し、運用を開始した。(平成24年度) ○新規採用を含む各職員に対し、各内部システム操作研修を実施した。
	2 8 年 度 ○財務会計システム各業務担当部署との連携を図り、システムの稼働を維持・管理する。 ○汎用GIS(地理情報システム)の運用・維持を行い、図面データの充実と利用推進を図る。 ○文書管理・電子決裁システムの運用を行い、細部について検討を進める。 ○新規採用を含む各職員を対象とする、各内部システム操作研修を継続実施する。

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
内部情報システムの管理 運用 番号制度対応	内部情報システムの管理 運用 番号制度対応	内部情報システムの管 理運用	内部情報システムの管 理運用	内部情報システムの管 理運用	内部情報システムの管 理運用	内部情報システムの管 理運用	内部情報システムの管 理運用

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	文書管理・電子決裁、汎用GISの各システムを活用してペーパーレス化を推進するとともに、各部署における情報資産の引き継ぎと業務の効率化を図る。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			14,959	15,205	10,164	10,164
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	14,959	15,205	10,164	10,164
	① 合計		14,959	15,205	10,164	10,164
	人件費	② 人数(年間)	1.00	1.00	1.00	1.00
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	9,000	9,000	9,000	9,000
		総事業費①+④		23,959	24,205	19,164

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①システム障害発生件数	目標値 実績値	3 0	3	3	3
	②	目標値 実績値				
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	①職員一人当たりの経費 【総事業費/職員数】	目標値 実績値	51.1 51.1	51.6	40.9	40.9
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	ITを活用した事務体制は、電子自治体を実現するための基盤として位置づけられるものであり、効率の良い事務を行う観点からも必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	財務会計システムを始めとする各種内部情報システムの利用を推進することで、内部事務の効率化の進展が図られており、有効に機能している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	内部事務システムについては、一部未活用の部分が残っていることから、関連部署と調整しつつ、引き続き効率化を進めていく。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	長期保守可能な統合パッケージシステムとしての導入を行っており、コストの低減が実現できている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。